

令和4年度 富士厚生会事業実績報告書

1. 社会福祉法人富士厚生会 本部

社会福祉施設における虐待や権利侵害の事案が相次いで報道されている折、これを受け当法人においても虐待事案が起こり得る事を課題として受け止め、予防の観点から日頃より行動のプロセスを共有することにより、「事前の気づき」を得ることを最重要とし、介護サービスの向上に取り組んだ1年でした。

令和4年度の経営に関しては、コロナ過の長期化に伴い、職員、利用者の感染が増加した結果、在宅サービス事業の一時閉鎖、入所施設の入所控え等の影響が大きく、結果として大幅な収入減をまねきました。

又、エネルギー問題に端を発した物価高騰により、予定外の支出の増加、結果収支としてはマイナス決算になりました。しかしながら今後、社会の変化を敏感にとらえた、経営改善を確実に取り組んでいきます。

2. 特別養護老人ホーム富士宮荘

令和4年度は、8月及び12月に施設内において新型コロナウイルスの感染者が発生しましたが、迅速に感染症対策を実施し入居者に大きな被害なく終息しました。この期間に新規入居の受け入れが出来ず年間稼働率が低下していました。

在宅事業所においても、新型コロナウイルスの影響を受け、ショートステイ萩の里では、9月に、デイサービスにおいても、1月に利用者から罹患者が出たため、利用者の受入れの中止を余儀なくされ、稼働率が前年を大きく下回る状況となりました。

特別養護老人ホーム富士宮荘 施設本体	平均介護度	4.08 (3.9)
	年間稼働率	99.1% (99.9%)
ショートステイ萩の里	年間稼働率	56.4% (69.9%)
デイサービスセンターみどりの里	年間稼働率	54.9% (70.5%)
居宅介護支援事業所のぞみ	介護給付費管理数	404 (528件)

3. 特別養護老人ホーム ネオライフとみざわ

入居者は重度介護の方が多く、平均介護度は4.47でした。そのため、入居者の健康状態を素早く判断し、医師への連絡や受診を行う事で入院するケースを最小限にしてきましたが、10月から12月の3ヶ月で体調不良者が多発しました。

感染症については、新型コロナウイルスが流行し南部町内でも感染者が出ておりました。しかし、感染症対策の継続により、新型コロナウイルスに感染された入居者は1名でした。また、在宅事業においても営業停止や濃厚接觸により利用を控える傾向がありました。

特別養護老人ホームネオライフとみざわ 施設本体	平均介護度	4.47 (4.3)
	年間稼働率	98.1% (98.4%)
ショートステイとみざわ	年間稼働率	85.1% (89.3%)
ディサービスセンター菜の花の里	年間稼働率	50.7% (60.9%)
居宅介護支援事業所とみざわ	介護給付費管理数	910 (874件)
ヘルパーステーションさつき	利用延べ人数	3886 (4,419件)

4. 特別養護老人ホームシャローム富士川

今年度は入退居が27件、入退院が39件と例年よりも入れ替わり、入退院が多い年度ではありました。しかし、極端に稼働率を落とすことはありませんでした。今後も入居者様の適切な状態把握に努め、協力医療機関と連携を取り入院の減少に繋げます。

また、新型コロナウイルスによるクラスターが発生しましたが、感染症対応の標準予防策の徹底等に加え、昨年度に実施した大規模なシミュレーションの効果から、当該ユニット内で完結し感染拡大なく収束できています。

デイサービスにこにこホームは1月に新型コロナウイルス発症者が複数名確認されたため5日間の休止がありました

今後も入居、在宅限らず、安心安全で信頼されるサービス提供と安定した経営に取り組んでまいります。

特別養護老人ホームシャローム富士川 施設本体	平均介護度	4.18 (4.06)
	年間稼働率	96.9% (97.5%)
ショートステイシャローム富士川	年間稼働率	87.3% (92.6%)
ディサービスセンターにこにこホーム	年間稼働率	79.0% (78.2%)

居宅介護支援事業所シャローム富士川	介護給付費管理数	1006 (1006 件)
在宅介護支援事業所シャローム富士川	相談・訪問・見守り	(11 件)

5. 地域密着型特別養護老人ホーム なかざと

令和4年度は、落ち込んでいる収入、稼働率を改善させていくこと1点に集中し、運営、経営をしました。

その結果、稼働率でいえば、特別養護老人ホームは4ポイント、デイサービスセンターは16ポイント、生きがい俱楽部は例年並みの結果を出すことができました。

最初に行ったことは、職員の意識改革です。「早めの気づき、早めの対応」を意識づけさせること、現状の経営状況を数字でつきつけ、会社として危機であることを認識させること、稼ぐことで修繕や物品購入ができる、入居者、職員に還元ができるなどを理解させることを全職員に行いました。

また営業活動も継続的に力を入れ、紹介のあった方については、基本的に断らないスタイルで利用者の増加に努めました。

この努力が功を奏し、空床や入院者数の大幅減少、利用者数の増加に繋がった年度となりました。

特別養護老人ホームなかざと施設本体	平均介護度	4.14 (4.00)
	年間稼働率	98.0 (93.2%)
デイサービスセンターなかざと	介護給付費管理数	49.8 (33.2%)
なかざと生きがい俱楽部	利用延べ人数	1392 (1521人)

6. 地域密着型特別養護老人ホーム「松野の里」

入居の状況は長期入院者が少なかった事や新規入所までの空室期間を少なくできた事により、コロナ禍ではあったが稼働率前年比増となりました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に重点を置き、面会の規制、行事の縮小などを行ってきましたが、入居者の楽しみを増やす為、新しい行事を行い、少しでも充実した日常生活を送っていただけるよう努めました。また、令和4年度は指定更新の年でしたが、指摘事項や運営協議会による意見等も無く適切な事業運営が出来ており、問題無く指定更新ができました。

特別養護老人ホーム松野の里	平均介護度	4.06 (4.27)
	年間稼働率	98.9% (97.8%)
生きがいデイサービスおぐるまの里	利用延べ人数	2082 (2150人)

地域交流センター	利用延べ人数	3419 (3984人)
----------	--------	--------------

7. 地域密着型特別養護老人ホーム 草塩おんせん

12月コロナウィルスクラスターが発生し、12月31日で終息となりましたが、その後の体調不良者の増加もあり、亡くなる方が何名かいらっしゃいました。その中で、入所待機者の調整を行うも、待機先でのコロナ発生等もあり、入居調整がスムーズに行えなかったのが、稼働率低迷の要因と考えられます。

特別養護老人ホーム草塩おんせん	平均介護度	3.67 (3.80)
	年間稼働率	97.1% (97.0%)
デイサービスはやかわ	利用延べ人数	45.5% (57.7%)

8. 特別養護老人ホーム ソレイユ甲府

施設では、稼働率の向上に向け、外部との連携など新規待機者の確保を図るとともに既存待機者の現況調査等を重ねることで、特養本体に関しては前年を上回る稼働率を確保することができました。デイサービスでは、ご利用者の体調不良や入院等が予想外に多く思うような数字となりませんでした。

新型コロナウィルスにおいては、影響を受けやすいショートステイやデイサービスでの受け入れ抑制や停止等がありましたが、これまでの経験を活かしクラスターを発生することなく一定の影響に納めることができました。今後も、感染症が存在していることを念頭に、職員の意識を緩めることなく社会状況に即した感染対策を行って参ります。

特別養護老人ホームソレイユ甲府	平均介護度	3.74 (3.60)
	年間稼働率	97.06% (94.2%)
ショートステイソレイユ甲府	年間稼働率	79.6% (76.1%)
デイサービスセンターワーク	年間稼働率	45.98% (54.6%)
居宅介護支援事業所ソレイユ甲府	介護給付費管理数	270 (280件)

9. 障害者支援施設 三和荘

令和4年度は利用者の確保に苦慮しました。県内外を問わずに営業範囲を広げましたが、目標数値には届かず、大幅な稼働率低下となりました。

施設内におきましてはクラスターを発生させずに過ごせました。今後も施設を住まいの場とする利用者と在宅障害者の双方への適切な生活支援を行います。必要な支援とその体制の維持に、人材教育も含め、現場での一層の工夫や改善の推進、また制度等の見通しについて情報収集いたします。

障害者支援施設三和荘	平均障害支援区分	5.3 (5.60)
	年間稼働率入所支援	91.3% (95.9%)
	生活介護（入所）	91.3% (95.8%)
	生活介護（通所）	53.0% (46.5%)
ショートステイ三和荘	年間稼働率	16.6 (12.2%)

10. 障害者支援施設 くぬぎの里

入所事業につきましては、7月～8月にかけて、施設内で新型コロナ感染症のクラスターが発生いたしました。職員12名、ご利用者様9名で合計21名の陽性が確認されました。入院者はおらず、施設内での療養にて完治いたしました。

ご利用者様の状況としまして、退所者は3名、すぐに新規入所の対応が出来ました。

短期入所につきましては、感染症対策として4床を2床にし、個室対応として対応しました。入所でクラスターが発生した期間は受け入れを中止することもありました。

デイサービスセンターくぬぎの里につきましても、富士市からの指導があり入所でクラスターが発生した期間は営業を中止いたしました。

障害者支援施設くぬぎの里	平均障害支援区分	5.6 (5.50)
	年間稼働率入所支援	96.3 (98.8%)
	生活介護	(95.8%)
ショートステイくぬぎの里	年間稼働率	50.9 (46.6%)
デイサービスセンターくぬぎの里	年間稼働率	37.3 (43.5%)
指定相談支援事業所くぬぎの里	相談延べ件数	2127 (1913件)
	特定相談延べ件数	203 (160件)

1 1. 障害者支援施設 きぼうの里

施設の年間稼働率については、前年比0.6ポイントプラスとなりました。

短期入所につきましては、前年比-5ポイントとなりました。定期的にご利用いただいた方が施設へ入所されたこと、感染症対策の関係でダウンとなりました。

通所については、前年比-2.1ポイントとなりました。通所と短期入所を併用で利用された方の利用中止、施設入所とサービスの変更があったため、ダウンとなりました。

地域活動支援センターについては、前年比-4.4ポイントとなりました。

長期利用中止の方がおり、新規利用者も確保していますが引き続き営業努力していきます。新型コロナウイルスに関しては、きぼうの里でも、9月に14名、12月に29名がクラスターとなりました。事前に、感染症の研修を実施し、有事に備えた対策をしていましたので、最小限に抑えることができました。

障害者支援施設きぼうの里	平均障害支援区分	(5.00)
	年間稼働率入所支援	98.3% (97.7%)
	生活介護	(97.7%)
ショートステイきぼうの里	年間稼働率	85.1% (90.1%)
きぼうの里通所	年間稼働率	82.6% (84.7%)
地域活動支援センター	相談延べ件数	61.0% (65.4%)

1 2. 障がい者福祉センター小泉

生活介護は、障がい者の日中活動、日中の居場所として安全に快適に利用していただけるように、個別支援・障害特性に沿った支援を大切に運営しました。前年比+9.5 ポイント増

放課後等デイサービスは、登録人数の大幅減により、前年比-21 ポイント

今後も、障がい者支援の社会資源のひとつとして、地域住民に有効に利用していただけるよう富士宮市や関係機関との連携を図り、稼働率向上を目指して各事業に取り組みます。

通所生活介護	年間稼働率	93.8% (84.3%)
放課後等デイサービス	年間稼働率	47.1% (68.1%)
相談センター	一般相談	4880 (5031 件)
	特定相談数	563 (658 件)

地域生活支援拠点	相談件数	(62 件)
----------	------	--------

1 3. 養護老人ホーム 富士宮市立長生園

長生園は、富士宮市から指定管理者施設として委託を受け、公設民営の養護老人ホームとして、安心・安全な施設運営を心掛けてまいりました。

その際に、老人福祉法や富士宮市との協定書、富士厚生会の規程を遵守し、常に入所者の支援に努めてまいりました。

また、行政とは、密接に情報の共有を行い、連携を図ってきた結果、措置人員に欠員が出ることなく施設運営を行うことができました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響によりさまざまな行事が中止となり、地域の皆様との交流はほとんどできない状況でしたが、入所者、職員が共に感染予防に努め、感染症発生を抑制することができました。

養護老人ホーム長生園	年間稼働率	95.4% (96.2%)
------------	-------	---------------

1 4. 富士市富士南部地域包括支援センター 及び

1 5. 富士市富士川地域包括支援センター

急速な高齢化により、ますます介護保険の利用が増加してきております。これに対応すべく、介護保険利用者を少しでも減少させるため、当包括は介護予防教室、脳の健康教室等の介護予防の普及を行い、地域住民に高齢者増加の認識を深め、一人一人が自助努力し、できることは、住民同士の相互扶助により助け合っていく環境作りを行ってまいりました。

1 6. 富士宮市富士根地域包括支援センター

平成30年4月より運営を開始し5年が経過しました。担当圏域は富士根北・富士根南地区を引き続き担当しています。コロナの状況下も包括の業務は相変わらず多忙でした。そんな中でも職員は変わることなく4人でその都度包括内で情報を共有し、新規相談や困難ケースの対応をしました。それぞれ専門分野の意見を出し合い、協力して支援を行う事が出来ています。

以上、法人本部と15施設の事業実績報告を発表させていただきました。